

議員全員協議会会議録

(令和8年9月2日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議員全員協議会会議録

本日の会議 令和8年9月2日(水)
招集場所 議場

出席議員

議長	吉田茂生	副議長	嘉喜山茂
議員	山本美佐	議員	田中純樹
議員	岡雄次	議員	尾崎恵一
議員	池田栄次	議員	石川秀夫
議員	金繁典子	議員	鷹野正志
議員	原田達也	議員	濱本元通
議員	中野光博	議員	吉村直城

欠席議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	土居章二	主幹	尾川美保
--------	------	----	------

説明のため出席した者

なし

本日の議員全員協議会に付した案件

【議会協議】

- (1) 「米の安定供給と持続可能な水田農業の確立を求める意見書」の提出について
- (2) その他

開会	16時04分
閉会	16時15分

○吉田議長 長時間の後に、今日、定例会、御苦労さまでございました。

今日はすいません、全員協議会を、次第のとおり、米の安定供給と持続可能な水田農業の確立を求める意見書の提出についてということで、今回あの、前回、議会運営委員会の中で複数の議員のほうから、こういう米価の変動について、少し意見の取りまとめをしてほしいというふうな要望があったため、こういったところで全員協議会を開催する運びになりました。

経緯については、議会運営委員会の委員長のほうから少し説明をしていただければと思います。

原田議員。

○原田議員 先日の議会運営委員会におきまして、委員の中から提案がございました。というのも、今年の米価の大幅な下落、生産コストを大幅に割り込んだ金額となっております。このままいきますと、離農する農家が非常に、全国的に多くなるんじゃないかと。そして、まあ今年は、米は余っている状態ですけど、いずれまたこれ米が足らなくなる、第2の米騒動が起きるんじゃないかということで、この次第にありますように、米の安定供給と持続可能な水田農業の確立を求める意見書、これを愛南町議会として国に出したらどうかと、そういった意見がこの前、先日の議運の中でありましたので、今日はちょっと全員協議会を開いていただいて、皆さんにこの件に関して協議をしていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○吉田議長 ありがとうございます。というところでまあ個人での要望書よりも、議会として意見書として出したらどうかということで今日皆さんのほうに御判断をしていただきたいと思います。いまして、全員協議会を開きました。まずこれは、すべきでない、しなくてもいいという方がいらっしゃったら挙手をお願いします。全員一致の形でよろしいですかね。意見書として提出をしたいということで、もしここで御賛同いただければ、内容を含めてちょっと協議をさせていただいて、今日の今日の文書はできませんので、次回、9月7日に全員協議会があります。その後に、まあそれまでに皆さんほうで合意が得られれば、一応議運とそれから産業厚生委員長辺りでちょっと素案をつくっていただいて、それで最後、9月7日に審議をしていただいて、発議をするかどうか、また議運でもみたいというふうに考えておりますので、今日皆さんのほうで反対がなければ、議会として意見書を出したいという方向性で、内容と提出先を少し皆さんのほうから意見を頂いて、取りまとめをして、9月7日に皆さんの中に案として、もう一回再度皆さんのほうに提出をさせていただいて、もんでいただきたいと思いますというふうに考えております。

まあ唐突なんですけど皆さんのほうからこういう意見の中で意見書を出してほしいということがあれば、まあ今日、一般質問、何名かの議員もされていますので、趣旨をちょっとこう言っていたいただければ、9月7日までに案をまとめてきますので、そういう形でよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○吉田議長 それではちょっと意見、どういう形の、愛南町に合った意見書というものもあるでしょうから、ちょっと参考意見をちょっとお願いできればと思いますが、意見はございますでしょうか。

石川議員、今日、一般質問していましたけど。

石川議員。

○石川議員 先ほどもそうなんですけど、同僚議員からも米の生産農家、農地荒廃、中山間地におけるこの厳しい経営環境を継続できるのかどうかということが一番重要かと思います。御存じのように、日本は7割弱を海外から輸入してしまっていて唯一、米が100%に近い数字が、自給率になっております。言い換えれば海外に胃袋を委ねているという状況の中で、この唯一、米、自給率を100%、継続していかなければ、日本の国民の食生活っていうのが、いろんなその、中国とかロシアとか北朝鮮とかに囲まれていますので、いつ何どき起こってもおかしくないの

と、御存じのように気候変動等もありますので、安定的なやっぱり食料生産をしていく施策を、やっぱり国に訴えるべきですというふうに私は考えております。

○吉田議長 米の安定供給という形ですかね。それと適正な価格、それから担い手確保、中山間地における、そういった感じの趣旨でよろしいんですか。

ほかに何かございますかね。

金繁議員。

○金繁議員 今、石川議員が言われたことと関連するんですけども、私は、どうしても入れていただきたいのは、農家に対する所得補償、直接補償です。これは、ヨーロッパとかまあ海外では当然、常識的にされていることなんですけど、日本の農家さんはそれになしでずっとここまで頑張ってきて、今の状況、生産コストが上がり、米価が下がりという本当に厳しい状況で、愛南町内でも、もう高齢化されて、あと5年したらもう米を作る人もいなくなるよと。若い方が、うちの地域でも、たくさんの、何枚もの水田作ってくれているんですけど、もし彼らが、もう割に合わないから、もう作れませんって言われたらもう愛南町の食料安全保障という持続可能性が途絶えてしまうので、本当に喫緊の課題、全国的にもそうなんですけど、愛南町においても本当に喫緊の課題なので、私としては、本当に安定的に米を作っていただくために所得補償、直接補償というのを必ず入れていただきたいです。そうすることによって、農家さんだけでなく、消費者にとっても安定的に安価な米が供給されるということで諸外国はやっているわけですから、日本国政府においてもそれをもう早急にやっていただきたいと思います。

○吉田議長 石川議員。

○石川議員 もう一点、私は基盤整備を入れていただきたいと。愛南町でも、基盤整備しているところと、基盤整備していないところでは、耕作放棄地の面積が全然違うということと、あと、借り受けて生産するにも、基盤整備がしていないとこはもう受け手がないというような状況になっていますので、この基盤整備の圃場整備ですよね、これを入れていただきたいというふうに思います。

○吉田議長 区画整理をするという意味合いも含めてということですか。

○石川議員 そうです。

○吉田議長 基盤整備のは。あとは、さっき尾崎議員が一般質問しとった用水路の整備、老朽化の整備ということで、そういう内容でよろしいんですか。

ほかに何かございますかね。

鷹野議員。

○鷹野議員 この提出先なんですけど、一応、国ということでよろしいんでしょうか。あれやったらまあ愛媛県知事、国は・・・せんけど、じゃあ県が何とかしようということもあるかどうか分からんけど、県よりはもう国だけでいいんでしょうか。

○吉田議長 要望書ではなくて意見書なので、内閣総理大臣には出せませんが、議長ですね、参院・衆院議長、それから各省庁……

(「内閣総理大臣出せるが。内閣総理大臣出してよ」と言う者あり)

○吉田議長 意見書っていうのは出せないですよ。直接総理には出せないですよ。

(「出せるよ」と言う者あり)

○吉田議長 出せるんですか。

(「出せる」と言う者あり)

(「連名よ。内閣総理大臣……」と言う者あり)

○吉田議長 連名ということですね。それを皆さんに決めていただいて。

吉村議員。

○吉村議員 さっき区画整理か、出とったけども、これは、要望はいいとしても、個人負担もいるので、全て国にじゃあ、その辺はちゃんとせんと……

- 吉田議長 説明文書の中でいうことですよね。
- 吉村議員 そうそうそうそう。
- 吉田議長 継続してできるその基盤整備をしてほしいと。
- 吉村議員 だからもう議運の委員長、議運とあれに任してもいいんじゃないの。個人個人言いよつたら切りない。
- 吉田議長 そうですけど、概算のとこだけはちょっと言うてもらわんと。ちょっとなかなか難しいので。
あとほかにはないですかね、大体その辺のところですかね。
(発言する者あり)
- 吉田議長 後はじゃあ、どうですか、議運の委員長と、それから産業厚生の委員長と、私らも入りますので、そこでまあ原案だけ、案だけつくって……
(「一任します」と言う者あり)
- 吉田議長 いいですか。じゃあ9月7日に、すいません勉強会の後、またお時間取っていただいて、検証するようにしますので、それでよろしいでしょうか。
(「はい」と言う者あり)
- 吉田議長 ほかに何か皆さんのほうからありますでしょうか。
(「ないです」と言う者あり)
- 吉田議長 ないですか。はい。長々とありがとうございました。これで全員協議会を終了します。

議長